

—お知らせ—

かやぶん新体制について

お知らせが大変遅くなり申し訳ございません。

令和4年度から令和5年度にかけてのNPO法人の体制変更についてお知らせいたします。

○理事会

・令和4年度

役員改選の年にあたり、以下のとおり変更になりました。

理事長	柴山 裕子	→	小泉 洋吉
副理事長	五味 順子	→	船窪 敏文
退任理事	柴山 裕子		
	小泉 美津夫		
	功力 司		
新任理事	船窪 敏文		
	前田 安雄		

・令和5年度

理事会のより一層の充実を期して理事定数6名の理事で構成する理事会とすべく、以下の理事1名を増員しました。

新任理事 秋山 直道

退任された柴山前理事長をはじめ役員の皆様のこれまでのご尽力に心より感謝申し上げます。新たに就任された小泉理事長、船窪副理事長、前田理事、秋山理事には、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新体制	理事長	小泉 洋吉 (再任)
	副理事長	船窪 敏文 (新任)
	理事	五味 順子 (再任)
		篠原 眞清 (再任)
		前田 安雄 (新任)
		秋山 直道 (新任)
	監事	柴田 光明 (再任)

○職員の異動

・令和4年度

新入職員 佐野 隆 (NPO法人企画統括担当並びに主任調査員)

廣瀬 公明 (調査員)

退職職員 皆川 由紀子事務長(R4.3.31退職)

功力 司主任調査員(R4.3.31退職)

退職された皆川事務長は、NPO法人かやぶ

ん設立後まもなく事務職員更に事務長として何代もの理事長の下でかやぶんの運営にあたられ、規模の拡大した組織の切り回しと安定経営の礎となられました。その功績は甚大であり感謝の念に堪えません。

=新理事長からのごあいさつ=

会報 かやぶんかわら版 第90号の発行に際しご挨拶を申し上げます。

会員及び職員の皆様には日頃、茅ヶ岳歴史文化研究所の事業運営推進のため、大変なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

NPO法人は、北杜市の埋蔵文化財発掘調査の支援事業を通じて、北杜市の文化財行政の一端を担う組織として成長してまいりました。

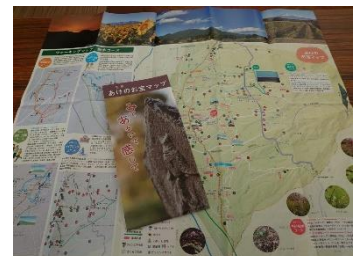
本年度市内遺跡等支援事業は、北杜市武川町甲斐駒東部地区内遺跡発掘調査をはじめ、その他事業においても現在順調に進捗しております。また令和3年度からの継続事業となりました「あけのお宝マップ作成事業」は、コロナ感染拡大中ではありましたが、企画委員各位が長期にわたり町内くまなく調査していただき、マップ5,000部が今年の1月に完成。明野町内全世帯と北杜市内観光施設等に配布したところ、明野町内外の配布先からも好評と追加要請をいただき、配付後4ヶ月で在庫がなくなり、本年度2,000部増刷することになりました。改めてお宝マップ作成に携わった皆様のご尽力に感謝を申し上げます。

本年度NPO法人の安定運営への取り組みとして、働きやすい環境の整備、受託業務の効率的遂行、活動の周知、雇用の確保等に努めてまいります。皆様のなご一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度の事業報告

○あけのお宝マップ作り

明野町の歴史や文化、景観や各種施設などを紹介した「あけのお宝マップ」が完成しました。今後このマップを活用したフットパスも実施する予定ですので、楽しみにお待ちください。



令和4年11月20日に実施された静岡県藤枝市にある志太郡衙跡へのかやぶん研修旅行に参加しました。私にとってはまったく知らない場所で、聞くのも初めて、申込用紙の志太官衙（郡衙）の読み方もわかりませんでした。私位の齢になっても、初めての知らない所に出かけるのは楽しいものです。もちろん気に入った所に何度も行く事も楽しいですが……。出発までに仕入れた「郡衙とは奈良時代から平安時代に全国に置かれた役所のこと」という知識だけでの参加になりました。

志太郡衙跡は、正門、通用門、掘立柱建物一棟が復元されています。中心となる大きい建物二棟の内



一棟は柱のみ、一棟は梁までの復元です。全体は復元されていません。私のような素人には、復元されたもの

があると非常にわかりやすくなります。ただ、はっきりしない部分を想像で復元すると、誤った形で広まってしまう可能性があります。この意味で途中までの復元になっているのだと思いますが、コンクリート製になっているのは雰囲気を壊します。木を使用してほしいところです。外周りの後、資料館の見学になりました。発掘時に出土した土器類、柱の一部、等と説明パネルが並んでいます。都に納めていた税の説明があり、この地方からは鯉節を納めていたそうで、海なし山梨県との差が感じられました。

まったく知らなかった志太郡衙跡ですが、佐野主任調査員の解説を聞きながら、復元建物、資料館等を見学して全容を知る事ができた研修旅行でした。



船窪 敏文

ホームページをリニューアルしました

NPO法人の2つのホームページの統合を含めたホームページのリニューアルを行い、より見やすいものになりました。(URL <https://kayabun.net>)

今後もNPO法人の情報をタイムリーに皆様にお届けできるよう、ホームページを更新していきます。

令和4年度の市内遺跡等調査支援業務では、1) 武川町西久保B遺跡、2) 須玉町一道下遺跡、3) 住宅等の開発に伴う市内遺跡、4) 武川町埜場(ぬたば)遺跡発掘調査、の4件の調査支援を実施しました。

西久保B遺跡は、武川町と白州町の境界にある標高888mの中山の東裾に位置します。出土した土器等を調べた結果、平安時代の9世紀後半から11世紀後半頃まで連続と集落が営まれたことが分かりました。さらに縄文時代晩期末から弥生時代前期にかけてアワ、キビの雑穀栽培がおこなわれたらしいことも判明しました。

須玉町穂足の大蔵新田に所在した一道下遺跡は、奈良時代から平安時代の集落跡です。奈良時代の遺跡は北杜市では珍しく、円面硯など珍しい出土品もあります。八ヶ岳南麓の開発拠点になった集落と思われます。

武川町埜場遺跡は縄文時代晩期前半(約3200年前)の集落跡で、住居2軒が発見されました。縄文時代晩期の遺跡は珍しく、重要な発見となりました。



＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000円

年会費 2,000円

かやぶんかわら版 第90号

令和5年7月31日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-45-7672

URL <https://kayabun.net>

e-mail kayabun@hotmail.co.jp

